

開館10周年記念展II

共立女子大学博物館

Kyoritsu Women's University Museum

慈しみが 生み出す衣服

— 近世・近代の子どもの着物 —



2026

10/5月



11/28土

前期：10/5(月) - 10/31(土)

後期：11/2(月) - 11/28(土)

開館時間 平日 10:00 - 17:00

土曜 10:00 - 13:00

(10/24は10:00 - 16:30)

休館日 日曜 (10/11は開館)・祝日 (11/3は開館)・10/9

休館日、開館時間に変更になる場合があります。

詳しくは当館のウェブサイトをご覧ください。

入館無料

お問い合わせ先 03-3237-2665 <http://www.kyoritsu-wu.ac.jp/muse/>

振袖 濃藍色縮緬地松紅葉秋草鶉模様(後期展示)

大正時代・20世紀前半 国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)

ごあいさつ

医療技術や環境が十分に整っていなかった江戸時代以前、子どもが無事に成長することは現代のように容易ではありませんでした。そのため人々は、誕生直後の初宮参りをはじめ、3歳、5歳、7歳という節目のたびに、これまで無事に育ったことへの感謝と、これからの健やかな成長を氏神様に祈りました。

共立女子大学博物館は2026年に開館10周年を迎えました。子どもの成長に例えるならば、7歳をさらに3年超えて、将来に向けた夢を描きながら、堅実な歩みを始める時期と言えます。

本展では、慈しみの心が込められた子どもの着物を展示します。家族の愛情が込められた着物を通じて、幼少期の温かい思い出に心を馳せていただければ幸いです。また今回は、三笠宮崇仁親王が御幼少期にお召しになった御装束を展示し、宮中における古式を継承した子ども服もご紹介します。江戸時代から昭和時代にかけての男女の子どもの着物が時代とともに移り変わっていく様子をお楽しみください。



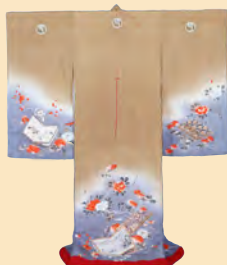
白麻地双魚模様祝着
江戸時代・18-19世紀(後期展示)



猩々緋羅紗地陣羽織
江戸時代・19世紀前半(前期展示)



白綸子地松竹梅模様四つ身
江戸時代・19世紀(前期展示)



茶縮緬地牡丹冊子模様一つ身
明治時代・19世紀(後期展示)



振袖 紫白染分縮緬地花扇蝶鳥模様
大正時代・20世紀前半
国(皇居三の丸尚蔵館収蔵)(前期展示)



紅縮緬地牡丹菊熨斗模様被布
大正時代・20世紀(通期展示)

イベント



【ギャラリートーク】

開催日時：① 10月21日(水) 12:50 - 13:10

② 11月12日(木) 12:50 - 13:10

当館学芸員が作品の解説をします。

事前申し込み不要。開始時刻に展示室へお集まりください。

【講演会】

演 題：「子どもの着物 慈しみが生み出した形や模様」

講 師：長崎巖（当館名誉館長・丸紅ギャラリー副館長）

開催日時：10月24日(土) 14:00 - 15:30

開催場所：共立女子学園神田一ツ橋キャンパス

申込方法：10月5日(月) 10:00から当館ウェブサイト

または下記QRコードにて受付

定 員：50名(事前予約制)

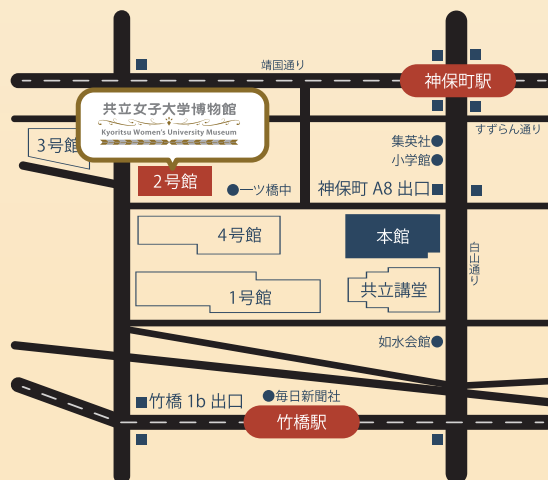
定員になり次第、締め切らせていただきます。

詳細および注意事項は当館ウェブサイトをご確認ください。

講演会のご予約はこちらから →



アクセス



〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-1 2号館B1F

・東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・新宿線

「神保町」駅下車A8出口から徒歩3分

・東京メトロ東西線「竹橋」駅下車1b出口から徒歩5分

Instagram



X



共立女子大学博物館

Kyoritsu Women's University Museum